

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の指導目標 小単元のねらい	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態
河童と蛙	2	場面と描写を結びつけて読む。	比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ	「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ	すすんで表現の技法を理解するとともに，詩を読んで考えたことを伝えようとしている。
桜蝶	4	文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写（特に二つの文章の描かれ方の違い）をもとに捉えている。C(1)イ	粘り強く二つの文章を読み比べながら，場面と描写などを結びつけて内容を解釈し，学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
言葉の単位	1	文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	単語の類別について理解するとともに，指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ		積極的に言葉の単位について理解するとともに，見通しをもってその役割を考えようとしている。

お気に入りの一品を紹介する	7	伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア	すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。
自分の脳を知っていますか	3	①文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ②文章の構成を捉え、要約に生かす。 ③「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	①「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに筆者の考えを捉え、要旨を把握している。C(1)ア ②「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。C(1)ウ	粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題にそって筆者の考えをまとめようとしている。
漢字の部首	1	漢字の部首についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
意見文を書く	5	①意見と根拠の関係を理解する。 ②根拠をはっきりさせて、意見文を書く。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ	すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。

ベンチ	5	本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ	すすんで読書が考えを広げることに関心をもつことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
日本語を音声	1	日本語の音の特徴を理解する。	音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア		積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。
文の成分	4	主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	①単語の類別や文の成分について理解している。(1)エ ②文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。2年(1)オ		すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。
『夏の庭』一冊読み	5	描写に即して登場人物の心情を読み取り、作品の主題について自分の考えをもつ。	作品の描写に用いられた心情を表す語について調べ、語彙を豊かにしている。	①「読むこと」において、物語の展開に即して、登場人物の心情を読み取っている。 ②作品の主題について自分の考えをもち、ものの見方・考え方を広げている。	読書や意見交流を通して考えを広げ、学習の見通しをもって自分の考えを発表しようとしている。

読書感想文を書こう	5	読んだ本の魅力や、本から学んだことを整理し、構成を工夫して読書感想文を書く。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ	思いを効果的に伝える構成について粘り強く考え、繰り返し推敲している。
画数と活字の字体(書写)	1	画数と活字の字体についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
筆遣いと字形「天地」(書写)	2	小学校で学習した楷書の基本点画の筆遣いと字形を理解して書くことができる。	基本点画の筆遣いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。		基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。
筆脈「いろは歌」(書写)	2	平仮名の筆遣いや筆脈、配列を理解して書くことができる。	平仮名の筆遣いや筆脈、配列を理解している。		平仮名の筆遣いや筆脈、配列を理解している。

楷書と行書の違い (書写)	1	楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解できる。	楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴を理解している。		楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴を知ろうとしている。
材料を整理して意見文を書く	6	①資料を比較して共通点と相違点を見つける。 ②考えの中心を明確にして、段落構成を考える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。B(1)イ	すすんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながら考えたことを書こうとしている。
漢字の音と訓	1	漢字の音と訓についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
全ては編集されている	3	①写真を見るとき viewpoint を知り、写真の特徴を理解する。 ②写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ	情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。

子供の権利	3	<p>①専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。</p> <p>②論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。</p> <p>③自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。</p>	<p>事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p>	<p>粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
単語のいろいろ	4	<p>自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。</p>	<p>単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ</p>		<p>すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。</p>
森の魔法使いがいる	4	<p>①必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。</p> <p>②問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。</p> <p>③筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。</p>	<p>原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p>	<p>①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果（特に論理の構成）について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。C(1)エ</p>	<p>粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。</p>
竹取物語	4	<p>①古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。</p> <p>②『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。</p>	<p>音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p>	<p>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p>	<p>積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。</p>

随筆を書く	6	身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ	粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
熟語の構成	1	熟語の構成の基本的な型を知る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
故事成語	3	①いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ②漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ	すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
方言と共通語	1	方言と共通語の特徴について知る。	共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ		すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。

発言を結び付けて話し合う	4	①話題を意識して話し合い、発言を結びつける。 ②いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。A(1)オ	すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
材書を整理して案内文を書く	6	①集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ②目的や意図を意識して、案内文を書く。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア	すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
点画の連続と変化「大木」(書写)	2	点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	①点画の連続と形の変化の筆使いを理解している。 ②点画の連続と形の変化の筆使いを理解して書いている。		点画の連続と形の変化について、課題意識をもって取り組んでいる。
点画の連続と変化「栄光」(書写)	2	点画の連続と変化を理解して書くことができる。	①点や横画からの連続の筆使いを理解している。 ②点や横画からの連続の筆使いを理解して書いている。		点や横画からの連続の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。

点画の連続と省略 「平和」 (書写)	2	点画の連続と省略を理解して書くことができる。	①点画の連続と省略を理解している。 ②点画の連続と省略を理解して書いている。		点画の連続と省略の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。
学習を生かして書く(書写)	1	学習した行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	①これまでに学習してきた行書の特徴を理解している。 ②これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書いている。		これまでに学習してきた行書の特徴を硬筆で確かめている。
書初め(書写)	4	文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ※(行書の特徴や配列を理解して書くことができる。)	楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 ※(行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。)		自己の課題をもって取り組んでいる。
宮沢賢治の童話3 編比べ読み	5	①語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ②場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ③作品を比較して読み、共通する主題や作者の人物像について自分の考えをもつ。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ	粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。

ブックトークをしよう	7	<p>①好きな本を選び、その魅力を伝える。</p> <p>②話し方を工夫し、聞き手を引き込むように語る。</p>	<p>事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。A(1)イ</p>	<p>粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
言葉がつなぐ世界遺産	4	<p>①問いと答え、事実と意見の関係を捉える。</p> <p>②事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。</p> <p>③筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。</p>	<p>原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p>	<p>①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。C(1)オ</p>	<p>粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。</p>
少年の日の思い出	5	<p>①語句の辞書的な意味と文脈での意味との関係に注意する。</p> <p>②場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。</p> <p>③語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。</p>	<p>事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p>	<p>①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係（特に語りと構成について）、また心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。C(1)イ</p>	<p>粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>
四季の詩	2	<p>それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。</p>	<p>比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ</p>	<p>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p>	<p>すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。</p>

読み手を意識して報告文を書く	6	①要点を簡潔にまとめる。 ②読み手の立場に立って、文章を整える。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ	積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
都道府県の漢字の読み書き	1	都道府県の漢字について知り、読んだり書いたりすることができる。	都道府県名に用いられる漢字を知り、適切に読んだり書いたりしている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
虹の足	1	●見えている「虹の足」とおして、見えていない「虹の足」について考える。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ	すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
豚	1	●詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
小さな手袋	5	●文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 ●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。 ●登場人物の気持ちの変化を捉える。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ	すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
漢字を使いこなそう①	1	●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。		漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

スピーチ、話し言葉と書き言葉	7	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的な体験を通して、自分の思いや考えを効果的に伝える。 ●話し言葉と書き言葉の違いについて知る。 	話し言葉と書き言葉の違いについて理解している。	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ	具体的な体験を入れることや、話し言葉と書き言葉の相違点に留意して、粘り強く学習に取り組んでいる。
漢字を使いこなそう②	1	<ul style="list-style-type: none"> ●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。 	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。	/	漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。
随筆の味わい 枕草子・徒然草	1	<ul style="list-style-type: none"> ●古人のものの見方や考え方に對して、自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。 	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ
古典の一節を引用して文章を書く	2	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えに合う古典の一節を引用して、意見文を書く。 	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ	積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

水の山 富士山	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ● 説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ● 富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ	「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、筆者の説明の仕方について、その関係を踏まえて内容を解釈している。C(1)ウ 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ	粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
漢字を使いこなそう③	1	● 教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。	/	漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。
説得力のある提案をする	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 話の構成を効果的に組み立てて話す。 ● 根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。 	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ	積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。
活用のない自立語	3	● 名詞、連体詞、副詞、接続詞、感動詞について理解する。	品詞がもつはたらきや性質について理解している。	/	粘り強く品詞のはたらきや性質について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

夏の葬列	5	<ul style="list-style-type: none"> ●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ●時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。 	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開(時間の流れと場面の展開)、表現の効果について考えている。C(1)エ	粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
点画の省略 行書「初志」 筆順の変化 行書「深緑」	4	<ul style="list-style-type: none"> ●点画の省略を理解して書くことができる。 ●筆順の変化を理解して書くことができる。 	点画の省略や筆順の変化を理解して書いている。	点画の省略の書き方や筆順の変化の仕方を確かめ、自己の課題を考えている。	点画の省略の書き方や筆順の変化の仕方について課題意識をもって取り組んでいる。
構成を明確にして手紙を書く 手紙の清書	5	<ul style="list-style-type: none"> ●相手に対して適切に言葉を選ぶ。 ●書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。 ●配列を整えて文字を書く。 	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ 敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。(1)カ 文字の配列に留意しながら手紙を書いている。	「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。B(1)イ	積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。
敬語	2	●敬語のはたらきや特徴について知る。	敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ	/	粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

漢字を使いこなそう④	1	●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。	/	漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。
観点を明確にして伝える	3	●集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ●図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ	「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を効果的に用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。
紙の建築	5	●事例の役割や効果を確認しながら読む。 ●事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ●筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。
西の魔女が死んだ	5	●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開(時間の流れと場面の展開)、表現の効果について考えている。C(1)エ	粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

活用のある自立語	5	●用言の活用と種類・用法を理解する。	単語の活用について理解を深めている。(1)オ		粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
漢字を使いこなそう⑤	1	●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。		漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。
短歌の味わい	7	●情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	●情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ	すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。
付属語のいろいろ	2	●付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	助詞や助動詞などのはたらきについて理解を深めている。(1)オ		助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

漢字を使いこなそう⑥	1	●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。		漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。
行書と仮名の調和	4	点画の連続と配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の調和について確かめながら書いている。		行書と仮名の調和について、自己の課題を考えている。
敦盛の最期	4	●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ●文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。	歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。
向田邦子随筆比べ読み	4	●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

漢字を使いこなそう⑦	1	●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。	/	漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。
孔子の言葉 論語	3	●表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ●文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ
ガイアの知性	3	●筆者が用いる語句の意味を捉える。 ●筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ●自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。C(1)ア 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ	すすんで主張と例示の関係について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
漢字を使いこなそう⑧	1	●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。	/	漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

書き初め	5	文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ※(行書の特徴や配列を理解して書くことができる。)	楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 ※(行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。)	/	自己の課題をもって取り組んでいる。
いちご同盟	5	●人物の描写とその役割や効果について理解する。 ●人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開(時間の流れと場面の展開)、表現の効果について考えている。C(1)エ	粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
よりよい結論を導く討論をする	4	●結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。A(1)オ	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
漢字を使いこなそう㊦	1	●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。	教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。	/	漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

<p>走れメロス</p>	<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ●人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ●登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。 	<p>抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとらして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p>	<p>「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p>	<p>すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。</p>
<p>根拠をもとに意見文を書く</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な考え方がある問題について根拠をもとに推論して考える。 ●考えの理由づけを示して意見文を書く。 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p>	<p>「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ</p>	<p>積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。</p>
<p>漢字を使いこなそう⑩</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教育漢字を書けるようにし、新出音訓を読めるようにする。 	<p>教育漢字を書くことができ、新出音訓を読むことができる。</p>		<p>漢字の学習に粘り強く取り組んでいる。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の指導目標 小単元のねらい	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
握手	4	描写に即して、登場人物の人物像を読み取る。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	粘り強く、文章の展開を捉えたり言葉の意味を文脈から理解したりするとともに、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
具体例をもとに説明文を書く	5	読み手に説明するために構成を工夫する。	①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ ②情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ	「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。B(1)イ	積極的に文章の種類を選択し、学習の見通しをもって発表のための資料を作成しようとしている。
構成を考えて主張をまとめる	7	①社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。 ②自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (2)ア	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。A(1)イ	すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見通しをもって主張しようとしている。

なぜ物語が必要なのか	3	①文章の種類と特徴について理解を深める。 ②知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。	文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
『おくのほそ道』一冊読み	7	①情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用して、作品から読み取れる作者の思いについて研究発表を行ったりする。 ②歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	①背景などに注意して古典を読むこととおして、その世界に親しんでいる。(3)ア ②長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
説得力のある批評文を書く	6	①資料を比較して、自分の考えを整理する。 ②伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ	積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。
故郷	5	①理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ②一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ③「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	①「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。

問いかける言葉	3	<p>①事例と主張とを関係づけて読む。 ②文章を比べ、評価しながら読む。 ③文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (2)ア</p>	<p>①「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p>	<p>粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。</p>
点画の変化と連続 「創造」 (書写)	2	<p>①点画の変化と連続を理解して書くことができる。 ②次の文字への筆脈を理解して書くことができる。</p>	<p>①点画の変化と連続、次の文字への筆脈を理解している。 ②点画の変化と連続、次の文字への筆脈を理解して書いている。</p>		<p>点画の変化と連続、次の文字への筆脈について、課題意識をもって取り組んでいる。</p>
行書と仮名の調和 「美しい自然」	2	<p>①点画の連続を理解して書くことができる。 ②配列を理解して書くことができる。</p>	<p>①点画の連続や配列の書き方を理解している。 ②点画の連続や配列の書き方を理解して書いている。</p>		<p>点画の連続や配列の書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。</p>
表現の工夫を評価してスピーチをする	7	<p>①相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ②場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。</p>	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ</p>	<p>積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって主張しようとしている。</p>

<p>○・ヘンリー短編小説の比べ読み</p>	<p>4</p>	<p>○・ヘンリーの短編小説を3編読み、比較することを通して、作品の構成や作者の人物像について自分の考えをもつ。</p>	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ</p>	<p>①「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p>	<p>すすんで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。</p>
<p>和歌の調べ</p>	<p>5</p>	<p>①古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ②和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。</p>	<p>①歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア ②長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ</p>	<p>「読むこと」において、古典の文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p>	<p>粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>
<p>風景と心情</p>	<p>3</p>	<p>①歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ②詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。</p>	<p>歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア</p>	<p>「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p>	<p>粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>
<p>俳句の味わい</p>	<p>5</p>	<p>言葉の意味を掘り起こして読む。</p>	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p>	<p>すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>

『塩狩峠』研究発表会	7	①描写に即して登場人物の人物像を読み取る。 ②作品を横断的に読み、登場人物の設定や人物と人物の関係について自分の考えをもつ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ	①「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。
自己PRカードを書く	3	①読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ②読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (2)ア ②文字の中心や大きさに気を付け、楷書で丁寧に書いている。	「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見だしている。 B(1)オ	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。
意見を共有しながら話し合う	4	①相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。 ②話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (2)ア	「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ	積極的に相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
書初め	5	文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ※（行書の特徴や配列を理解して書くことができる。）	楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 ※（行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。）		自己の課題をもって取り組んでいる。

メディアリテラシー はなぜ必要か	5	①新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ②社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
初恋	2	表現上の工夫に注意して、暗唱する。	文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	粘り強く文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
持続可能な未来を創るために	3	持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。

<p>情報をまとめて作品集を作る</p>	<p>4</p>	<p>①自分の文章の収集と整理をする。 ②学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。</p>	<p>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (2)ア</p>	<p>①「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ②「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ ③「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。B(1)エ ④「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ</p>	<p>積極的に今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。</p>
<p>春に</p>	<p>3</p>	<p>言葉の中の春を読む。</p>	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p>	<p>すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>